

ロジカル・コミュニケーション

～相手にうまく伝える技法～

○講座のねらい

日頃仕事上生じる様々な場面で、「ものごとを論理的に捉え、論理的に整理・分析し、論理的に相手に伝える」ための各種手法を学ぶことで、論理的思考や論理的コミュニケーション能力の必要性・重要性に気づき、それらを日常業務の中に取り入れる。

○対象者

受講を希望する職員

○日 程

第1組 令和5年 1月16日(月)～17日(火) 2日間
第2組 令和5年 1月18日(水)～19日(木) 2日間

○会 場

自治研修センター（午前9時30分までに集合）

○予定人員

各組30名

○講 師

(株)ヒューマン・ギルド

永藤 かおる



○カリキュラム

	午 前	午 後
1 日 目	(9:40～10:00) ・オリエンテーション (10:00～12:00) ・ロジカル・コミュニケーションとは ・聴き手の共感を得るプレゼンカ	(13:00～16:30) ・納得を引き出す交渉調整力 □ジックの基本3構図① ①-1 3点並列の構図「説得の構図」(基礎) 並列的に情報を整理できる万能構図 ①-2 3点並列の構図 (応用) 演繹法と帰納法、階層化 ・講師への質問記載
2 日 目	(9:40～12:00) ・1日目の質問への回答及び復習 ・問題発見から解決までの実践力 □ジックの基本3構図② ② 時系列の構図「報告の構図」 時間の流れをベースに組み立てる構図	(13:00～16:00) ・問題発見から解決までの実践力 (続き) □ジックの基本3構図③ ③ ブレイクスルーの構図 「時系列の発展版構図」 ・チーム力向上のリーダーシップ力 (16:00～) ・閉講

【令和2年度受講生のアンケートから】

※ 令和3年度は研修を中止したため、前年度分を掲載

- 人に対して何かを説明したり、説得させたりすることに苦手意識を感じていたため、そのような意識が払拭できるよう、スキルを身につけたいと思い受講した。
- 職場では、様々な「伝える」場面があるが、上司や先輩などから「伝える」方法について具体的に教わる機会は少ないように思う。何を伝えたいのか、どう説得させたいのかを明確にしたうえでコミュニケーションを図っていくことが大切だと学んだ。
- グループワークの内容が高度でかつ短時間に仕上げなければならないものであったため、グループの役割分担が重要であった。このことは職場の係運営にも活かせると思う。